

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月6日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3910117815
法人名	医療法人 成仁会
事業所名	グループホーム つくしの里
所在地	〒780-8050 高知県高知市鴨部1079-1
自己評価作成日	平成21年10月19日
評価結果市町村受理日	平成22年4月15日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3910117815&amp;SCD=370">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3910117815&amp;SCD=370</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、入居者、家族、職員が共に心を通わせ、笑顔で暮らしていくことを目指し、入居者のいつもは聞けない話や普段みせない表情を日常的に出してもらおうよう、馴染みの利用者同士や職員と一緒に、散歩や買い物、喫茶店に行っています。また、ひとり一人が閉じこもることなく、共通の話題や思い出を作れるよう利用者全員での外出（花見・絵画展鑑賞・回転寿司など外食・図書館）やホーム内で喫茶を開くなど、和やかに暮らせるよう取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の中には人工透析が必要な方が多いが、事業所に隣接して透析のできる医療機関があり、療養中の利用者や家族にとって、安心感と信頼感のある事業所である。一方、透析のため外出の機会が少なくなりがちであるが、近隣に喫茶店や飲食店がある立地条件を活かして、日常的に利用者と共に楽しみの機会を作るよう工夫している。また、食事の時間も利用者によって異なる場合があるが、利用者一人ひとりのペースで食事ができるよう支援している。前回評価の課題事項について、出来ることから改善に取り組んでおり、今後も継続した取り組みが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者、家族、職員が皆楽しく暮らせることをコンセプトとしています。ミーティングや全体会等折にふれ、再確認しています。	地域密着型の理念があり、職員会や日々の話し合い、申し送りノート等で理念の振りかえりや実践の検討がされている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	決まったお店を利用したり散歩での挨拶等で近隣の方々となじみの関係作りに努力しています。町内会に入り地区運動会に参加しました。管理者が鴨田町づくりの会に参加しており、イベントには利用者も参加しています。	町内会に加入し、地区の行事へ参加している。散歩時の挨拶、利用者の馴染みの店への立ち寄り、小学校のプルタブ集めの協力など、地域との交流を積極的に行っている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会で、ホームについての説明や認知症ケアについて話しをしたり、管理者が鴨田町づくりの会に参加し、地域貢献に取り組んでいます。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で2カ月間の事業報告をした後、委員の意見を聞いていますが、委員の意見を引き出すことができていないと思います。	事業所から運営状況や評価結果の課題等の報告を行い、参加委員から意見等が出されるなど、双方向的な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターの職員と運営推進会議や西部地区グループホーム会では、情報交換を行なっていますが、協力体制は不十分だと思います。</p>	<p>行政の担当課とは日頃の関係はあまりないが、地域包括支援センターとは、運営推進会議やグループホーム連絡会を通じて、事業所の運営状況を知ってもらい、助言をもらうなど、関係づくりに取り組んでいる。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員全員が研修会に積極的に参加し、出席者がそのことを全体の職員会議で発表し勉強会をしています。研修会や勉強会を重ねる事で今まで意識できていなかった言葉の拘束が減ってきたり、何が拘束になるのかを意識しながらケアが出来るようになってきたと思います。</p>	<p>身体拘束に関する研修会や事例検討会などを通じて、身体拘束をしないケアの理解や意識の向上に取り組んでいる。また、日々のケアの現場での出来事を振り返って話し合いもできている。事業所は建物の2階にあり、出入り口が階段の踊り場に直接面しており、安全のために家族の了解を得て常に施錠しているが、エレベーターを使用するなど拘束をしないケアに配慮している。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関して定期的な勉強会を職員会で行なっています。また、研修会にも積極的に参加しています。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は、地域権利擁護事業や成年後見制度について研修を受け、職員会等で職員全員が周知理解できるようにしていきたいと思っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、必ず時間をとって説明しています。特に起こりうるリスク、看取りについて、医療連携体制、個人情報使用について詳しく説明し、同意を得るようにしています。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時には、日々の様子を話しています。また、毎月、利用者の様子をお手紙でお知らせしています。意見や要望について十分引き出せていないと思います。	昨年の評価結果を受けて、年度内に家族会の立ち上げを予定しているが、実現していない。家族との面会時や手紙、電話等の機会を通じて、意見を出してもらうよう取り組んでいる。	運営推進会議でも話し合われているとおおり、家族会を作ることが目的ではなく、家族同士が懇談し、事業所に意見を伝えられる仕組みづくりが望まれているもので、その趣旨に沿った取り組みが期待される。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回は全体の職員会議を行い、管理者と職員の意見交換や相談ができるようにしています。	毎月の職員会や日々のミーティングの機会に職員から意見や提案を聞くようにしており、出された意見等を法人の会議にあげていく仕組みができています。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に11度、各部署の代表者が集まり会を開き、その時に希望など話しています。年に1回人事考課の書類を提出しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修等に積極的に参加し、後日、研修報告を行なっています。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	西部地区で近隣のグループホームで作った会に参加し、相互に勉強会など行なっています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人に会い、生活状態や心身の状況を把握し、できる限り求めていることや不安を理解した上で、本人と話す機会を多く持ち、信頼関係を築くよう努力しています。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご家族に会う機会を設けて、ご家族の求めていることや不安を理解し、関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時は、利用可能なサービスや介護保険等について助言しています。現在2名の入居者がデイサービスを利用されてます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は利用者を支援する立場でなく、利用者の力を引き出しながら、共に暮らしていく関係を築き、人生の先輩である利用者から経験、知恵を教えてもらう姿勢で取り組んでいます。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族に事業所の役割や暮らしを理解していただき、買い物や昼食会、誕生日会などへの参加をお願いし、職員や入居者と距離が近くし、共に支え合う関係になれるよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの知人や友人から電話がかかってきたり、会いに来てくださったりしています。しかし、多くの入居者は別の地域からの入居ため、関係が途切れている方が多い。</p>	<p>知人、友人の来訪や電話、家族同伴で馴染みの美容院に出かけるなど、交流を継続している。人工透析の必要な利用者や出身地が遠い利用者もいるが、散歩コースに新たな行きつけの場所を見出すなど工夫しながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、入居者同士のなじみの関係や状態、感情の変化に注意をしながら、一緒に楽しくお茶を飲むなど、孤立しないよう配慮している。また、散歩時には、気の合う者同士で過せる場面を大切にするなど支援しています。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、本人、家族の相談に乗っています。しかし、関係は薄れてしまっています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員担当制にし、今まで以上により深く入居者の声に耳を傾け、思いや希望の把握に努めています。（年賀状を出したり、郵便局にお金引出しに行ったり、モーニングを食べに行くなど）	入居前の情報に加え、日々の生活の中で、利用者の好きなことや得意なことを把握しながら、一人ひとりの思いや意向に沿った支援をしている。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員が馴染みの関係を入居者と作り、本人や家族から生活歴や暮らしぶりを少しずつ聞くなどして把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>朝夕のバイタル確認や食事・排泄表などで利用者のその日の体調などを把握するとともに、ひとり一人の過ごし方や出来ることの把握に努めています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者や家族には日頃のかかわりの中で少しづつ要望や思いを聞き、プランに反映するように努めている。アセスメントを入居者に沿ったものにして考えています。</p>	<p>利用者や家族の希望を聞き、職員全員でモニタリングやカンファレンスを行い、3カ月と6カ月を基本に定期的に介護計画を作成しているが、状況の変化に応じた計画の変更や期間設定ができていない。</p>	<p>利用者の現状に即したケアが行われているが、状況に応じて随時介護計画を見直し、書面により整備しておくことが望まれる。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事量・バイタル・入浴有無・排泄については個別に表にしています。また、日々の暮らしやエピソードを記録し、勤務開始前には必ず全職員が確認し共有するようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>デイサービスや傾聴ボランティアなど利用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	高知市西部健康福祉センターの図書館や貸室などを利用して外出時そこで食事したりしている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、入居者が希望する医療機関の受診や通院は家族の協力を得て行なっています。	利用者、家族の希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。通院介助は家族対応を基本としており、受診結果については電話等で確認し、職員間で共有している。	
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関と医療連携の契約を結んでいるので、担当看護師に介護職員は相談しやすく、日頃の健康管理や医療面で相談したり、助言、対応をしてもらっています。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には本人の普段の状況を伝え、職員がお見舞いに行ったり、家族や病院関係者より回復状況聞いたり、退院時にはどのような支援が必要か助言を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護の指針（重度化や終末期に向けた方針）を作成し、契約時に説明、同意を得ています。</p>	<p>看取り介護の指針について家族に説明し同意を得ている。重度化等の場合は、医療機関とも連携し、家族の意向に沿って支援する体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に救急手当や蘇生方法の勉強会を開き、全職員が対応できるようにしています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>管理者は防火管理者講習を受け、消防計画、防災マニュアル作成し、避難訓練を実施しています。また、スプリンクラーを設置する予定になっています。今後、近隣の方の協力を得られるようにしていきたいと思います。</p>	<p>定期的に避難訓練を行っているが、地域の住民の参加、協力は得られていない。災害時の非常用食料等の準備は出来ている。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が欠かせないこと、また、事業所が2階にあるために非常時の対応等について、日頃から支援体制を築いておくことが望まれるので、今後も継続的に地域住民に働きかけていく取り組みを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>部屋に入る時は必ずノックし、本人に了解を得てからの入室したり、誘導の際は本人の側で声かけするなど、気をつけています。職員会で、職員一人ひとりが日々点検し意識向上を図っています。</p>	<p>職員会等の機会を通じて、利用者の尊厳やプライバシーを損ねないケアの在り方について、職員に意識付けを行い、日々のケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が決めたことを行うのではなく、入居者一人ひとりのできることへの支援、複数の選択肢の準備（飲み物、好みの食事、服選び等）をするなど、自分で決められる場面を提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、食事の時間は入居者の自由になっています。買い物・喫茶・散歩など一人ひとりの思いにできる限り対応しています。半分以上の利用者が透析をしており、柔軟に対応するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えは自分で選んで頂き、お化粧などの見守りや介助の支援をしています。近隣の理美容室に行くことで自分で好みの髪型を注文したりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は決まっていますが、時には入居者と相談して決めることもあります。下準備や盛り付け、後片付けなど一緒に行い、職員は同じテーブルで同じものを食べています。	利用者の希望を聞きながら献立を作り、利用者の能力や好みに応じて食事の準備から片付けを行っている。人工透析の関係で食事の時間が多少ずれることもあるが、利用者一人ひとりに応じた支援が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分制限のある入居者以外は1500mlを飲用して頂くよう支援しています。食事も経口摂取できるよう入居者それぞれにあった食事形態にしています。毎日、水分・食事チェック表の記録を参考にしています。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きを行なっています。できない方は職員が介助しています。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間と排尿排便有無をチェックし、一人ひとりの排泄パターンを把握しています。トイレで排泄できるよう日中は布パンツや尿取りパットを使用するようにしています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、動作や時間を見計らってトイレで排泄できるよう誘導している。また、利用者の状況に応じて尿取りパットやポータブルトイレを利用するなど、自立に向けて支援している。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防にむけて、水分や食事の摂取、運動など、個別に工夫しています。透析者は下剤の服用が不可欠の為、主治医と相談しながら薬に頼らない方法を思案しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>朝風呂希望の方には対応できているが、夜間入浴については対応できていない。毎日の入浴を行っているので希望する日に入浴できるようになっています。</p>	<p>利用者の希望に沿って、毎日、朝から夕方までの間に入浴できるよう支援している。入浴拒否のある利用者には、声かけのタイミングなど工夫しながら支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活習慣に合わせて自由に部屋で休まれています。不眠の場合、本人の体力や好みなどに配慮しながら、日中の活動量をあげる支援しています。夜間不眠の場合、好きな飲み物を飲んだり、話相手になり、落ち着いてから居室に誘導しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬している薬をファイルし職員が把握できるようにしています。服薬時は名前、日付等声に出して確認し、必ず手渡し服用したことを確認しています。服薬したことを業務日誌でチェックしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>りんごの皮向きやみじん切りや縫物など、一人ひとりの得意分野で力を発揮してもらい、楽しみながらできることの支援をしています。自分が食べた後の食器洗いを役割りとしている方もいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している</p>	<p>散歩するだけでなく近隣の店等を利用することで、馴染みの店や場所が増えるよう努力しています。車椅子や歩行困難な方も、日常的に散歩や買い物、ドライブなど積極的に出かけています。</p>	<p>透析の必要な利用者が多く、散歩時には立ち寄る店や場所を決めて、日常的に出かけるよう工夫している。また、利用者の希望に応じて買い物やドライブなど、個別に出かけるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者の希望により、小額のお金を手元に持ってもらっています。家族よりお金を預かり事業所で管理している方には、買い物や喫茶店の利用の際は、入居者が払うように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族、友人と電話することは自由にできることを伝え、掛かってきた電話はおつなぎしています。また、絵手紙や年賀状のやりとりの支援をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節によって、フロアーの壁面にパッチワークや季節のタペストリー飾っています。入浴・食事時に季節感を感じてもらえるよう工夫しています。</p>	<p>共用空間はこじんまりとしており、ソファや椅子が置かれ、壁飾りや花を掛け、季節感を採り入れるとともに、二つのユニットが見通せる配置になっており、居住空間と共用空間に一体感があり、家庭的な雰囲気となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関の入り口に椅子やソファを置き、限られた空間の中で工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談しながら、できる範囲で馴染みの家具等を持ってきてもらっています。以前使っていた鏡台を持ち込んだり、お気に入りの写真を壁に貼ったりし、居心地の良い空間を作っています。</p>	<p>利用者一人ひとりの馴染みのある家具、家族写真やテレビなどが置かれ、個別性のある居室となっており、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室入口に個々に目印をつけたり、トイレはわかるように漢字で便所と書いたり工夫しています。現在、入居者もホームに馴染まれ、居室やトイレ等、上手に使用しています。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名：	1組・2組共通
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない